

保育課からの「回答」をふまえ、ふたたび保育の充実を求める要望書

2002年8月19日

練馬区児童青少年部 部長 殿
保育課 課長 殿

練馬区保育園父母連合会（練馬父母連）
代表：

わたし練馬父母連が4月19日に提出しました「保育の充実を求める要望書」にたいし、6月12日付で、「回答」を受け取りました。「回答」は、その多くが保育園に子どもを預ける保護者・父母の順いに応えたものとなっておらず、不十分なものといわざるをえません。「回答」をふまえ、あらためて、保育の充実を求める要望書を提出するものです。

1．要望の高い地域・保育園から、ただちに延長保育を実施してください。

今日の社会経済状況のもとで、延長保育実施を望む声は切実になっています。「回答」には、「延長保育の必要性の把握に努め」とありますが、どのような「把握」をされたのでしょうか。「少子化」といわれるもとで、子育てを社会的に支援することはますますだいいじになっています。「区の職員削減方針」の問題と、人間を育てる「子育て支援」の問題を同次元で論じるなど、子育て支援を担当する担当部課としての見解としては、見識を問われる「回答」です。要望の高い園から、すみやかに延長保育を実施してください。また、緊急時に利用できる「スポット方式」の採用など、延長保育の枠の拡大につながる施策をただちに実施してください。

2．土曜日保育を充実してください。

「回答」では、「現在の職員体制で運営していきます」とありますが、いまの「4分の1体制」といわれる体制そのものが、保護者・父母との間に何の合意のないまま施行された体制です。わたしたちは、保育行政との信頼関係を築くためにも、まずは「3分の1体制」に戻すことを求めているものです。土曜日保育は、週によって登園児数の幅がたいへん大きいのが実状です。園児の保育と安全面からいって、職員の体制は園児の少ない日に基準を定めるべきではありません。園児の多い土曜日は、他の平日に比べ、園児に対する職員数が少なくなっています。すみやかに、土曜日の職員の数を増員してください。また、園によっては、土曜日保育を自粛するよう保護者・父母に言う園もありますが、こうした行為はただちにやめるよう、徹底してください。そのさい、土曜日保育の自粛を促す文書の配布はとりやめるようにしてください。

3．正規職員をすみやかに増員してください。

「回答」では、「職員の増員が困難な状況の下で、保育に支障を来さないように出来る限りの努力をしている」とのことですが、どのような「努力」をされているのでしょうか。充実した保育をすすめるには、専門知識を学んできた正規職員の増員がなによりも必要不可欠です。子育ては社会的な問題である以上、しっかりした理念を児童部・保育課はもつ必要があります。子育て支援の見地にたつならば、「職員の増員が困難な状況」と行政一